

宮城県  
第三高等  
女学校  
宮城県  
第三女子  
高等学校  
宮城県  
仙台三桜  
高等学校



第59号

同窓会事務局  
宮城県仙台三桜  
高等学校  
仙台市太白区門前町9の2  
〒982-0845  
電話022(248)0158(代)

# 祝 母校創立100周年記念同窓会総会

日時 令和6年6月16日(日) 午前10時より12時まで

会場 仙台三桜高等学校 体育館

会費 1,000円(記念品:100周年記念クオカード他)

アトラクション 母校100周年の歴史のスライド

伊達武将隊の演武と旅太鼓(丸森町太鼓集団)の演奏

宮三女OG合唱団の演奏

申込み 令和6年6月5日(水)まで同封の青色の振込用紙でお願いします。

○駐車場はありませんので、学生時代と同じように公共の交通機関でおいでください。

○当番幹事は高校27回生・44回生・62回生・75回生・76回生のみなさんです。



出陣武将は伊達政宗公、伊達成実公、片倉小十郎景綱公

伊達政宗公が  
お祝いにかけつけます  
母校をバックに伊達武将隊と  
写真を撮ろう！



旅太鼓

三桜演劇部  
OG



私達も伊達武将隊と  
いっしょに踊ります

第13回定期演奏会 2024.2.11



OG合唱団

QRコードを作りました！QRコードを読み取って同窓会ホームページを開いてください。  
同窓会だよりも読めます。 三女・三桜同窓会 Q でも開けます。





# 総会報告

令和五年度の同窓会総会は、令和五年七月二日(日)十時三十分より、母校宮城県仙台三桜高等学校三階の合同講義室で開催されました。当日は佐々木英貴校長先生をはじめ、現教職員・恩師の先生方にご列席をいただき、同窓生あわせて一四名が参加いたしました。

総会は、今年二月に卒業したばかりの高校七十五回生小松大祐さん・阿部実里さん二人の司会で開会いたしました。協議は議長の高校七十四回生丹野広夢さんの議事進行により、令和四年度会務・決算報告、監査報告、令和五年度会務計画・予算案、役員改選が満場の拍手で承認されました。新役員

の紹介、長いこと常任理事として尽力された三島典子さんに花束を贈呈。そして、来賓



三島さんありがとうございました

## ◆総会次第

1. 開会の辞
2. 物故会員を悼み黙禱
3. 会長挨拶
4. 校長挨拶
5. 来賓紹介
6. 協議 - 議長選出 -
  - (1)令和4年度会務・決算報告ならびに監査報告
  - (2)令和5年度会務計画・予算案
  - (3)役員改選
  - (4)その他
7. 新役員紹介
8. 令和5・6年度常任理事並びに令和6年度当番幹事委嘱  
当番幹事：高校27回生、高校44回生、  
高校62回生、高校75回生、  
高校76回生
9. お知らせ・お願い
10. アトラクション  
メゾソプラノ独唱 伊藤郁子さん (高校29回生)  
ピアノ伴奏 渡部直美さん (高校29回生)
11. 如春会歌・校歌斉唱
12. 閉会の辞

の皆様からご挨拶をいただきました。昨年度までは、コロナ禍のためできませんでした。アトラクションをすることができました。高校二十九回生伊藤郁子さんによるメゾソプラノ独唱です。ピアノ伴奏は高校二十九回生渡部直美さん。短い時間でしたが久々の美しい歌声にうっとり！感激でした。最後に、如春会歌・校歌斉唱。新型コロナウイルスが五月に季節性インフルエンザと同じ「五類」となり、マスク越しではありましたが、昨年より大きな声をだして校歌を歌っている皆さんの姿は、三女生・三桜生に戻ったようでした。

来年は、母校創立百周年です。来年も元気に総会でお会いできることを楽しみに、令和五年度の総会は終了いたしました。



# 母校百周年を祝して



会長 五十嵐さとみ

最初に、この度の令和六年石川県能登半島地震により、被災された方々に心からお見舞い申し上げます。

同窓生の皆様いかがお過ごしでしょうか。昨年の総会は一昨年同様三桜高校の合同講義室をお借りして、佐々木校長先生はじめ現教職員・恩師の先生方、同窓生あわせて一四名の参加で開催することができました。また、コロナ禍のため遠方からの出席がかなわなかった昨年とは違い、四年ぶりに関東支部からも出席いただき、近況をお聞きすることができ嬉しく思いました。さらに、アトラクションとして、29回生の伊藤郁子さんに渡部直美さんの伴奏で歌っていただきました。目の前での素晴らしい歌声に感動と感激で胸が一杯となりました。このように通常と同じように開催することができ大変嬉しく思っております。

# ご挨拶



校長 佐々木英貴

同窓会の皆様におかれましては、益々ご盛栄のこととお喜び申し上げます。私、昨年四月に第二十六代校長として着任いたしました、どうぞよろしくお願いたします。

日頃より、同窓会の皆様方におかれましては、本校の教育にご理解とご支援を賜り、感謝申し上げます。ここ数年、新型コロナウイルス感染症への対応で、生徒達の学校生活も様々な制約を受けてきましたが、昨年五月の五類への分類変更に伴い、少しずつコロナ禍以前の状態に戻りつつあります。生徒達が、体育祭や三桜祭などの行事において、生き生きと躍動している姿を見るにつけ、互いに協力し合いながら、様々なことに取り組む経験の大切さを痛感しております。

令和六年度は、コロナ感染状況を判断しながら同窓会の文化祭など、活動の幅を広げられたらと思っております。

在校生も行事・部活動などを通常と同じようにできるようになり、学校生活も落ち着いてきたようで安心しております。部活動では放送部・書道部が全国大会出場、水泳・ボクシング・ワンダーフォーゲル部が東北・全国大会へ、剣道・弓道の個人でも東北大会に出場するなど素晴らしい活躍をしております。

また、同窓会から学校への支援として、三桜会館と職員室との連絡手段がないと伺いましたので、連絡用の電話機器を寄贈いたしました。会議や部活動などで活用いただければと思います。

令和六年度の総会は母校百周年を記念し、盛大にお祝いできればと企画しております。例年の猛暑を考え、七月ではなく、六月十六日(日)午前十時より開催予定です。皆様と一緒に母校の百周年をお祝いしたいと思いますので、多くの皆様の参加を心よりお待ちしております。今年度も同窓生の皆様が健康で過ごせますことを心よりお祈り申し上げます。

在校生は多くの先輩方が築き上げてこられた伝統を受け継ぎ、学習や部活動に励み、活躍しています。

令和五年度は、ワンダーフォーゲル部が北海道で行われたインターハイに出場しました。文化部では書道部、放送部が全国高等学校総合文化祭(2023)がこしま総文)に出場しました。

本校の校訓である「自律・聡明・敬愛」を体現すべく、日々努力を重ねる生徒達ですが、その教育環境整備のために、昨年は三桜会館の内線電話を寄贈していただきました。部活動や会議で会館を使用する際の連絡が、大変便利になりました。心より感謝申し上げます。

さて、令和五年六月には、本校を会場に開催された同窓会総会に参加させていただきました。皆様の母校は、来る令和六年度には、記念すべき創立百周年を迎えます。同窓会会長五十嵐さとみ様を実行委員長として、記念事業の準備を進めていただいております。現在、在校生にも希望を募り、準備に携わってもらうことで、学校全体で、この慶事をお祝いできるような考えております。

## 令和6年度同窓会予算

### 収入の部

科目	本年度予算額
1 会費	2,011,200
2 入会金	139,000
3 寄付金	278,000
4 繰越金	650,269
5 年会費	1,300,000
6 雑収入	0
合計	4,378,469

### 支出の部

科目	本年度予算額
1 総会費	200,000
2 会議費	20,000
3 庶務費	300,000
4 事業費	3,280,000
5 基金積立	200,000
6 予備費	378,469
合計	4,378,469

### 常任理事

令和5・6年度 (令和5年7月～令和6年7月)

- 横堀紀美子 (高校22回) 平野 恵子 (高校24回)
- 松本 和枝 (高校24回) 佐藤 幸子 (高校26回)
- 室井美智子 (高校27回) 堀江美恵子 (高校28回)
- 堀口 茂子 (高校38回) 大場 房子 (高校42回)
- 阿部 圭子 (高校43回) 工藤 美帆 (高校43回)
- 土生 佐多 (高校43回) 松本 仁美 (高校53回)
- 横山 幸 (高校55回) 森川 美鈴 (高校65回)



### 同窓会役員

令和5年7月～令和6年7月

- 会長 五十嵐さとみ (高校30回)
- 副会長 伊藤 知子 (高校22回)
- 鈴木 幸子 (高校26回)
- 江戸三知子 (高校27回)
- 境 近子 (高校27回)
- 浅野目隆治 (教頭)
- 横山のり子 (高校27回)
- 寺尾久美子 (高校32回)
- 千葉 美和 (高校53回)
- 永沼 京子 (高校21回)
- 餅田 明子 (高校38回)
- 小田桐順子 (高校39回)
- 白鳥真由美 (事務室長)
- 監事



# 母校は今年創立百周年を迎えます



第8代は枝正一校長  
(昭和30.4~42.3)

是枝正一先生は、昭和三〇年四月に着任された第八代校長ですが、初代から七代校長までは女子師範学校長が兼務されていたので、是枝先生は三女高初の専任校長でした。

是枝先生着任当初は一五〇名定員の学校で、三女高廃校問題をのりこえ、三〇年もすみなれた中島丁校舎から、長町への移転が決まっていました。先生は着任早々校舎建設の設計にとりくまれ、小規模校だった県の計画に「教育は百年の計によるべき」と陳情を重ね、県予算の確保に努力された結果、昭和三十三年五月三十一日、九学級四五〇名定員の校舎落成式を迎えました。

その後も校舎の充実とともに研究活動を続け、教育目標や新校舎を作る運動を展開され、校旗、校歌の制定や自主独立の気風など本校の基礎を築かれました。

是枝先生が退職された昭和四十二年三月、同窓会、PTA、



是枝校長胸像「朝に希望、昼に努力、夕に感謝」

学校職員により「是枝先生顕彰会」が発足。同年十一月四日、是枝先生顕彰碑の除幕式が行われました。あわせて是枝文庫の寄贈が行われ、是枝文庫が誕生しました。

碑には「朝に希望、昼に努力、夕に感謝」と刻まれています。是枝先生はこの後に「そして前道」と語られていました。

## 母校創立100周年記念式典

令和6年11月8日(金)  
仙台サンプラザホールにて

詳細はホームページで  
お知らせします。

生徒とともに  
クローバ植え

19回卒業 熊谷美恵子  
私たちが入学した昭和三十九年には、創立四十周年記念事業が行なわれ、三女高発展への驚きと、これまで努力されてきた是枝先生の偉大さに、私たちは崇敬の気持ちを持ったのを覚えております。

また、服装の規律や、クラブ関係の他校との交流などには、私たちにはきつすぎると思える程の厳しさを持っておられた先生ですが、私たち生徒との対話を大切にされ、その場も数多く作ってくださいました。

四十二年二月、私たち十九回卒業生と共に、スコップを持ちリヤカーを引いて、校庭のクローバ植えをされている先生の御姿が、今でも目に浮かんできます。そして卒業式には、「朝に希望、昼に努力、夕に感謝」と、あの重みのある声で、私たちの胸に説いて下さいました。その四月先生は振り返り、振り返り、三女高を去って行かれました。  
(三女高新聞より)

## 三女は私の宝物

堀籠 節子



昭和三十五年、新任教師として赴任して三十八年勤め、断腸の思いで去ってから二十五年、現在八十六才です。

長町に移転して三年目、体育館も無く一棟の校舎だけ、でもはつらつとした生徒達と数々の楽しい学校行事に恵まれ、以来、書き切れないほどの思い出が心にあります。

校風は自由でおおらかで、明るく賢い生徒達に後押しされながら、やりたいと思うことは何でも許され、全力投球の日々を送ることが出来ました。

そして創設した体操部、素人指導ながら強くするための練習に明け暮れる日々が続くことになりました。強い学校に追いつけ、追い越せ、と今では考えられないハードな練習を課し、嬉しいことに県や全国で認められるところまで登りつめることが出来ました。

体操が好きなのに、自身で出来なかった悔しい思いを、付いてきてくれた部員達によって可能にできたことに、感謝の思いでいっぱい部の活動でした。

そして今、立場は逆転し、私は同窓生諸姉に多くの事柄を教えてもらう生徒となり、又、彼女達は私の大切な仲間であり、高齢の私に何くれとなぐ声をかけ、面倒をみてくれる有難い存在です。

「かあちゃん自分の息子より三女の生徒の方が可愛いんだから、」と言った息子の言葉通り、三女は私の宝。

その宝物に支えられて、年齢の割には元気で自分の足で歩き、社交ダンスを楽しみ、加齢に負けない第二の人生を歩むことが出来ている私です。有難う、三女！

## 恩師からのメッセージ



# — 母校の近況 —

## 部活動を振り返って

三年 工藤 愛里

私たち三桜バレーボール部は、代々粘り強く繋ぐバレーが特徴です。また、部活動だけでなく、日常生活からも礼儀を正すことを心掛けています。二年半、三桜バレーボール部の一員として活動した中で、大きな変化の一つに部則が変わったことがあります。元々は上下関係に重きを置いた部則があり、入部して二ヶ月の間は礼儀をひたすら叩き込まれました。常に緊張感があり、礼儀についてはこの経験が大きく活きていると思います。部則が変わったのは、一つ上の先輩の代の時でした。

今では習慣になりましたが、プレー中は遠慮せずに、学年の壁を越えて戦うというところに重きを置くようになりました。プレー中と日常生活のメリハリをどうつけるか悩みましたが、気持ちのスムーズな切り替えや、コートに出たら常に切磋琢磨し合える関係を築き重ねられたと、今でも思っています。コロナウイルスの制限は徐々に緩和



和され、入部した時と比べると自分達の代は恵まれていたのだとより感じます。試合の応援の人数も、熱い声援も制限がなくなり、高総体ではコロナ禍の前の当たり前が戻ってきたようでした。その中でチーム一丸となって力を出し切れたことは、今後にも必ず生きてくると思っています。多くの人との関わりの中で、チームとしても個人としても大きく成長することができました。バレー部に所属したのは、私の財産です。これからの後輩達の活躍に期待しています。

## 三桜高校放送部

二年 齋藤 ことは

私たち放送部は、二年生三人、一年生五人の計八人で活動しています。人数の少ない部活ですが、その分、部員同士の仲が良く、学年の壁を越えて楽しく活動しています。

普段の活動では、聞き取りやすく、綺麗な声づくりを目標に、発声を行っています。日頃から美声を意識して練習を重ねることで、大会でも戦える武器となり、自信へとつながります。放送部の大会は年二回、三年間で五回とチャレンジできる回数が少ないため、一つ一つの大会にかける思いは大きいです。個人で戦う

ことの多い部活ですが、大会前はお互いの読みを聞き合い、アドバイスをしたり励まし合ったりしながら部員全員で上位入賞を目指します。

また、放送部には「放送委員」としての一面もあります。学校行事で

のアナウンスだけでなく、マイクやスピーカの準備、記録用のビデオ撮影など、仕事内容は多岐にわたります。他の委員会より人数が少ないものの仕事内容が多いため大変なときもあります。ですが、あらゆる行事の裏方に携わり、多くの経

験を得ることができたため、やりがいを感じることができそうです。放送部でしかできない経験を積み、多くのことを吸収して成長していきたいと思っています。



NHK全国放送コンテスト宮城県大会

## 同窓会 入会式

令和6年2月29日



令和六年二月二十九日、仙台三桜高校体育館で入会式を行い、二百七十三名の新入会員をお迎えしました。当日は高校29回生の渡部直美さんのピアノ、伊藤孝さんのチェロの演奏で高校29回生の伊藤郁子さんに歓迎の歌を歌っていただきました。

同窓会から、卒業記念として「卒業証書ホルダー・校章入りのファイナル・ボールペン」を贈りました。翌日の卒業式は、三年ぶりに在校生も出席して行われ、卒業生の新たな門出を祝いました。





### この出会いに感謝を

小松 大祐 (高校75回)



同窓会総会にて・上段まん中が小松さん

「やっぱり三桜で良かった」これは現在の私が三桜高校で過ごした日々を振り返っての思いを一言で表したものです。入学当初は女子生徒数の多さに面くら、この環境に馴染めるだろうかという一抹の不安がありました。加えて、新型コロナウイルスが猛威を振るったことで、学校での行事や日々の活動に影を落としました。しかし、私は良き友人や教師に恵まれました。男女の別なく、たくさんのお会いがありました。多くの制限の中、休み時間や放課後などの何気ない

時間できえも、友人と共に過ごした大切な思い出となりました。様々な人との出会いこそが、私にとって三桜で得た一番の財産だと思っています。

現在、私は宮城教育大学で教師になるべく、一生懸命学んでいます。そして、宮城教育大学に入るきっかけと力を与えてくれたのは三桜高校の先生でした。分からないことは分かるまで付き合ってください。私と、私の夢を認め、応援して下さったりと様々な場で支えていただきました。

多くの出会いと、今の私を形作ってくれた三桜高校には、感謝の気持ちでいっぱいです。

### 成人式を迎えて

小野寺琉夏 (高校74回)

二〇二四年も無事に成人式が開催され、私たち74回生も二十歳という節目の歳を迎えることができました。こうして無事に成人を迎えることができたのも、今まで自分を支えてくれた家族やお世話になった先生方、青春を共にしてきた友人など、関わってくれたすべての方々のおかげであると感謝しています。振り返ると、高校生の頃は長いと感じていた一日も気づけばあっという間の二十一年間で、今も沢山の思い出が先日のことのように蘇ります。特に三桜高校で過ごした日々は私の人生にとってかけがえのない宝物です。毎年盛り上がる行事や熱心に取り組んだ部活動、他愛もない会話など写真を見返すたびに思い出され、楽しかった高校時代がとても恋しく感じます。

### 48年ぶりに母校を訪ねて

大友 洋子 (高校28回)

令和五年七月二日はまだ七月初旬の仙台とは思えない程、暑い朝でした。それ以上に私の心は、48年ぶりに母校を訪れる期待に更に熱くなっていたのかも知れません。

現在、東京在住40年になりますが、時折り届く「同窓会だより」を読んでは、いつか母校を訪れたいと思っ

た。定年を機に仙台の仲良し同級生に声を掛けるところ、小林さんと河村さんが快諾してくれ二人で参加しました。

学校が近づくにあのポプラ並木の坂道は無く、当時の面影は残っていませんでしたが、桜色のステキな校舎に変身していました。受付の役員さん達が温かく迎えて下さり、直ぐに緊張が解れ、入口の制服やアルバムの展示で、一瞬で16才の三女高生に引き戻され、忘れていた記憶が

さて二十歳を迎えることで、これまで制約されていた行動範囲が広がり、自身自身で人生の選択をする機会が増えてきます。社会に触れる機会も増え、今まで以上に自立と責任の意味を強く感じることも多くなると思います。今後何度も失敗や挫折を経験すると思いますが、それでも挑戦する自分らしさを忘れずに自信をもって、これからの人生を歩んでいきたいと思

次々と廻って来ました。

冬は学生食堂の卵スープで体がポカポカになった事。ギター部の部活帰りは、門前バス停近くのお肉屋さんで、コロッケを食べた事など...

総会の最後に大好きな校歌を全員で合唱した時は、恩師・同級生への思いが込み上げ再び目頭が熱くなりました。立派な三桜会館を見学し、懐かしい思い出話に花が咲き、楽しい一時でした。

「遙けき道を常若に...」の如く、来る百周年を心よりお祝いしたいと思います。



左から大友さん、小林さん、河村さん

桜の友人たちと会えることを楽しみにしています。



右が小野寺さん





寄贈した支柱と練習するバレー部員

宮三女バレー部のOG会を『紫友会』と呼ぶことはあまり知られていないかもしれませぬ。

昭和から平成に変わったばかりの頃、三女高の運動部の部室棟が消失するという事件が起きた際、紫友会の皆様に支援を呼びかけ、沢山頂いたカンパ金から横断幕を寄贈させて頂きました。

その後、残ったカンパ金の有効活用機会を失ってりましたがこの度、同窓会役員の方と事務局の先生に助言とご協力を頂き、バレー部が希望する『カーボンファイバー製のバレーボール支柱』購入金の一部として残りのカンパ金全額(346,000円)を寄贈させて頂きました。

当時カンパをして頂きました紫友会の

「紫友会のみなさまへ」  
小嶋 睦美 (高校27回)

## 会員名簿を発行しました

令和4年9月、同窓会会員名簿2022を発行しました。口絵のカラーページは現校舎のほか、第三高等女学校の中島丁校舎、現在の門前の地でスタートした第三女子高等学校の旧校舎や同窓会活動などの写真や記録を載せています。同窓会の歩みを振り返りながら、ご自身の高校時代を思い出してみませんか。

個人情報取り扱いには十分に配慮しながら、同窓生全員に同窓会だよりをお届けし、母校と同窓生の橋わたしをしていけるよう、また同窓生同志の交流にも役立てていただきたいと思います。

名簿を発行してから「申し込みを忘れてました」「これから申し込んでもいいですか」という問い合わせをいただいております。まだ、名簿がありますので、ぜひお申し込み下さい。

【問い合わせ先】  
創文印刷出版株式会社(高橋)  
022-222-0181



昭和49年度卒業アルバムより・バレー部

先輩・後輩の皆様には事後になりました大変恐縮ではございますが、ご理解・ご了承の程、お願申し上げます。

## ♪♪「2万年前の遺跡を間近に、

令和6年1月27日、地底の森ミュージアムで「森の響き」コンサートが行われました。三桜高校音楽部とOG演奏家(赤間夏美さん、末永聖空さん、及川久美子さん)が一緒に出演しました。



美しい歌声に耳を傾けてみませんか♪♪



## 同窓会年会費のお願い

年会費は同窓会活動の運営費のほか、「同窓会だより」の印刷・郵送料にも使わせていただきます。また一昨年は図書、昨年は展示パネル、今年是三桜会館(生徒会館)と事務室との連絡用の電話機器の寄贈など、在校生への支援もさせていただきました。



同封の赤色の振込用紙で、一人2,000円のご協力をよろしくお願いいたします。総会当日もお預かりいたします。

## 令和6年度支部総会のご案内

支部	日時	会場	問い合わせ先	TEL
北海道	7月21日(日)	未定	島田満里子	011-591-7937
関東	7月6日(土)	「きゅりあん」大井町	山之井玲子	090-9379-8099
関西	未定		林 敏子	090-5973-5912
九州	5月12日(日)	西鉄グランドホテル「松風」	大塚あおい	0942-36-1455

### 支部連絡先

北海道支部 島田満里子 (高校23回) 〒061-2285 札幌市南区藤野五条一七七一 〇一一(五九一) 七九三七

関東支部 山之井玲子 (高校30回) 〒253-0085 茅ヶ崎市矢畑七八二一三二二 〇九〇(九三七九) 八〇九九

関西支部 林 敏子 (高校19回) 〒602-0058 京都市上京区上立売通小川西入下ル水落町九三 〇九〇(五九七三) 五九一二

九州支部 石田れい子 (高校16回) 〒811-3116 福岡県古賀市庄一五一一二 〇九〇(二三九三) 一四二四

### 編集委員

副会長 伊藤 知子  
 事務局 鈴木 幸子  
 境 江戸三知子  
 藤生 典子 近子

### 発行所

創文印刷出版株式会社  
 仙台市青葉区春日町 八三三四  
 〇二二(三三〇)一八一

支部だより

同窓会に接して

関東支部「萩の会」

関東支部長 山之井玲子 (高校30回)

「同窓会だより」に同封して頂く事になります。歴史ある学校の卒業生である事を嬉しく思います。関東支部萩の会は、昨年新型コロナウイルスの位置づけが5類に引き下げられた事で四年ぶりに開催出来ました。しかしながら感染症の不安を拭う事は難しいという役員一同の意見で、総会での会食は無しにしましたが、ごく僅かの参加者で総会後の食事が叶いました。ここ数年、萩の会開催について、参加者の減少や若い同窓生が増えず、後輩達への引き継ぎの難しさを抱えており、又役員数の減少や本部のご好意を受け、話し合いの結果、今年のお知らせは「同窓会だより」に同封して頂く事になります。今年も総会後の会食を考えておりますので、ご一緒して頂けると嬉しいです。又、参加費千円を当日お願いしたいと考えております。返信葉書を同封いたしますので、参加不参加、今後についてのご意見等をお願いいたします。最後にりましたが、皆様のご健康を心からお祈り申し上げます。



### 関東支部総会

- 令和6年7月6日(土) 10:30 ~ 11:30
- きゅりあん 品川区立総合区民会館 6F
- 参加費1,000円
- 関東支部の方は同封のハガキで。それ以外の参加希望の方は支部長にご連絡ください。5月24日までにお願いします

## 第8回 三女・三桜同窓会文化祭

日時：令和6年10月6日(日) 11:00~16:00  
 場所：東北電力グリーンプラザ アクアホール

今回は母校創立100周年記念文化祭とし、学校の歴史を振り返る写真の展示などを行います。発表の出演者を募集します。(作品展示の募集は行いません)

ぜひ遊びにいらしてください



### お問い合わせ・お申し込み

- 電話の方は 江戸三知子(高校27回) 090-7336-3265
- メールの方は 鈴木幸子(高校26回) suzu5612@yahoo.co.jp (申込み締切りは令和6年8月30日)

### 編集後記

同窓会だより第59号をお届けします。母校創立100周年をみんなでお祝いしましょう。ぜひ同窓会総会や支部総会にご出席ください。ホームページもご覧ください。三女・三桜同窓会でも開けます。



QRコード